

9月

定例議会質問



静岡市議会では、毎年2月定例議会においてのみ代表質問を行っていましたが、今議会より試行的に代表質問を行うこととなりました。

9月定例議会では、稲葉寛之総務会長が、会派を代表して代表質問を行い、志政会が行った2回の申入れ（「本市の危機対応力強化について」、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策について」）を軸に質問を行いました。



リスクに強い体制づくりについて

自然災害や新型コロナウイルスのパンデミックを始めとするリスクに対して、市民の生活や地域経済を守り、地域を継続していくための体制づくりが強く求められています。そういった中、本市では、今年度の組織改定で、危機管理を統括する危機管理総室が市長直轄となりました。

Q 危機管理総室を市長直轄としたメリットと効果はなにか。

A 【市長答弁】 様々なリスクに対し迅速な意思決定ができる一体的な危機管理体制を構築したことが最大のメリット。これにより、ワクチン接種の加速化や人流抑制の集中対策など、早急な準備・対応が図られ、ワクチン接種会場の拡充や感染防止の見回り強化などに繋がりました。

全職員の意識改革、スペシャリストの育成、各局間の連携の強化なども進め、より強靱な危機管理体制を構築していきます。

新型コロナウイルス対策について

今回の第5波における新規感染者が急増した8月中旬から下旬にかけて、入院病床が非常にひっ迫し自宅療養者も急増していました。これに加えて、保健所のひっ迫も大きな課題となっていました。

Q 保健所の負荷軽減に向けてどのような取り組みを行っていますか。

A 令和2年1月から関連業務を開始、この間、全庁からの職員応援のほか、PCR検査、患者搬送、健康観察など、可能な限り委託を進め、保健所への負荷を軽減してきました。

特に、健康観察を医師に委託する「在宅ドクターサポート事業」は、医師に自宅療養者の対応を任せることにより、職員の心理的な負担の軽減にも繋がっています。現在は、患者搬送の委託をさらに進めるため、複数のタクシー会社に患者搬送を委託することについて協議を進めています。

Q 事業者に対して、国・県・市はそれぞれ様々な支援メニューを用意していますが、事業者の皆様に対して、欲しい情報を確実に届け、支援に繋げていく必要があると考えます。事業者への情報発信と、今後を見据えた支援策をどのように考えていますか。

A 情報発信については、ホームページ、冊子、窓口設置など、多面的に情報提供を行っています。支援については、9月補正予算では、売上減少に伴う「応援金の支給」や「資金繰り支援」、賑わい回復に向けた「消費喚起促進」などの事業に取り組んでいます。これらに加え、今後は「デジタル化の支援」「設備投資の支援」といった、企業ニーズを反映した2つの取組を進めていきます。



児嶋喜彦

Q: 生活困窮者の中には、社会に馴染めず就職も長続きしないケースがあり、原因のひとつに発達障害があります。発達障害の傾向は乳児期から見ることができ、早期発達

支援は早期発見・早期介入が良いと言われていますが、静岡市としてはどのように進めていますか。

A: 1歳半検診時に言葉の遅れや行動面で気になる子どもについて、子どもの特性に応じた支援を行う「あそびのひろば」への参加を促し、二次支援として「ばすてるひろば」へとつなげており、コミュニケーションや社会性などの子どもの発達を促す支援を実施しています。



志政会 しせいかい

だより

令和3年10月発行

第25号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

9月議会



9月補正予算 一般会計 77億1,639万円

「在宅ドクターサポート」や「事業者応援金」などに

■ 在宅ドクターサポート … 1億9,520万円

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養する患者の支援体制を強化する。医師による健康観察を充実させ、患者の体調変化を早期に発見し、適切な治療につなげる。また、これまで保健所が実施していた自宅療養者への意向確認を、医療機関が実施できるように切り替え、円滑なサポート体制の構築と保健所の負担軽減を図る。

【対象者】 すべての自宅療養者（患者と同居する濃厚接触者を含む）
【運用方法】 受診医療機関が自宅療養者の意向を確認し、原則1日1回、自宅等での健康管理を実施
【貸出備品】 パルスオキシメーター 計660台

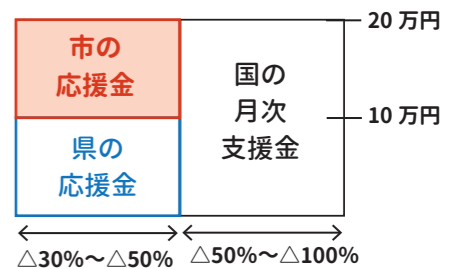


■ 事業者応援金の支給 … 8億円

「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」で売り上げが減少した事業者に対し、県の「中小企業者等応援金」に協調し、応援金を支給する。

【一般事業者】（*中小企業）

【対象者】 市内の中小法人及び個人事業者
【支給要件】 令和3年8月又は9月の売上げが、令和元年又は令和2年同月と比較して、30%以上50%未満減少していること。（50%以上減少している場合は、国の月次支援金を受けられる）
【上限額】 中小法人10万円/月、個人事業者5万円/月



■ 地域消費促進キャンペーン … 1億円

静岡・清水の中心市街地の商店街・大型店で1,000円以上買い物をした客に、抽選で総額8,000万円相当の豪華地場産品をプレゼントするキャンペーンを実施する。

【実施期間】 令和4年1月下旬から2週間を予定



キャンペーンイメージ

■ 学習用情報端末の整備 … 7億2,577億円

GIGAスクール構想の実現に向け、令和4年度に整備を予定していた小学1・2年生分及び教員分の学習用端末を前倒しして整備する。今回の整備で、市内小中学校全学年に児童生徒1人1台の端末がそろふ。

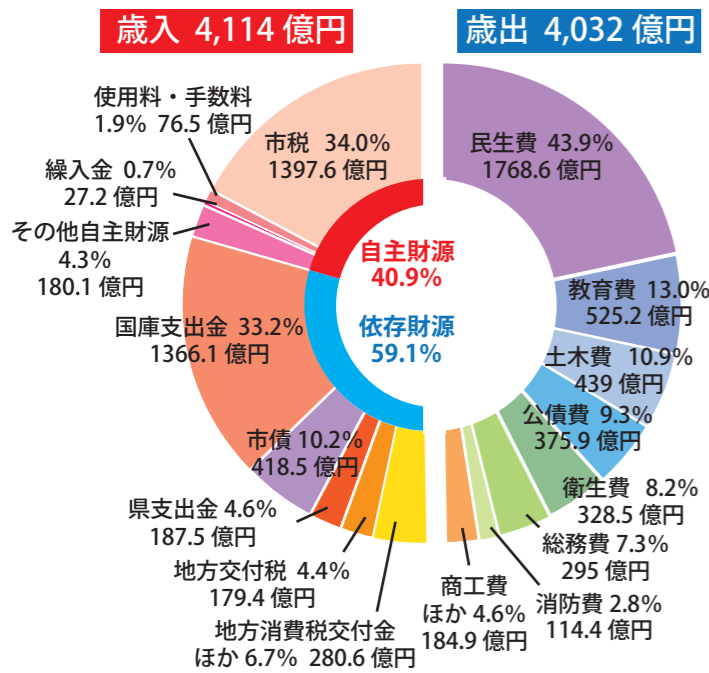
【整備台数】 小学1・2年成分 9,534台 教員分 735台



令和2年度決算概要



【一般会計決算額の割合】



静岡市の令和2年度決算概要が発表されました。一般会計の歳入は4,114億円（前年度比27.2%増）、歳出は4,032億円（同27.8%増）で、次年度に繰り越すべき収支を差し引いた実質収支は53億円の黒字となりました。歳入では、市税が法人市民税の減等により前年度と比べ約28億円減少した一方、国庫支出金が特別定額給付金等に伴い前年度と比べ約840億円増加しました。歳出では、新型コロナウイルス感染症対策事業に約814億円を支出しています。

一般財源に占める経常的経費の割合を示す経常収支比率は94.6%と、財政構造の弾力性が低い状態が続いています。また、市債の市民1人当たりの現在高は約69万円となっています。

税 市民1人当たりの市民税負担額…20万1,573円
税 市民1人当たりの行政経費…58万1,461円
 *令和2年度の各総額を、令和2年度末住民基本台帳人口(693,341人)で割りました。

【新型コロナウイルス感染症対策 令和2年度814億円の対策を実施】

令和2年度、静岡市では814億円の新型コロナウイルス感染症対策を実施しました。これらの財源としては、国庫支出金789.9億円、県支出金12.9億円、一般財源10.3億円等を活用しています。

感染拡大防止対策	28.1 億円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の支給 新型コロナウイルスワクチン接種 PCR検査費の支援
医療・福祉への支援	7.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> 公的病院への支援 ・医療用テント等の整備 重症患者対応体制整備への助成
市民生活への支援	716.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> 特別定額給付金の給付 子育て世帯臨時特別給付金の給付 ひとり親世帯への臨時特別給付金の給付 新型コロナなんでも相談ダイヤルの運営
児童生徒への支援	2.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健特別対策 放課後児童クラブ感染症拡大防止対策
中小企業等への支援	36.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 特別利子給付金事業 エール静岡事業者応援金の支給 エール静岡飲食業界支援金の支給 エール静岡観光事業支援金の支給
地域経済の活性化	5.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大の促進 Go To しずおかキャンペーン事業 エール静岡消費喚起事業の助成
新しい生活様式に対応した環境整備	12.0 億円	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の学習用情報端末の整備

緊急事態宣言を受けて 「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」 についての申入れ

志政会は8月20日、緊急事態宣言の発令を受け、新型コロナウイルス感染防止対策を改めて徹底するよう田辺市長宛に申入れを行いました。



感染拡大防止に関する要請の再徹底

- ・人流抑制のため市職員の出勤者数の半減
- ・静岡市HP上での市長自ら市民への行動自粛要請を含めたメッセージの発信

感染者対応について

- ・必要病床数の確保、重症病床数の拡大
- ・「入院待機ステーション」の設置
- ・自宅療養者への療養中、療養後の行動手引きによる案内、窓口相談の周知徹底

緊急事態宣言の影響を受ける事業者への情報提供及び支援

- ・どの事業者も簡単に支援制度情報を手に入れることができる情報サイトの開設 等

申入れの詳細は、会派ホームページ (<http://s-shinseikai.sakuraweb.com/>) に掲載しています

各種団体との意見交換

志政会では、様々な団体と意見交換を開催しています。これらの意見・要望を集約し、11月に市長へ提言を行っています。



市内小学校教職員の方々
教育現場の課題について



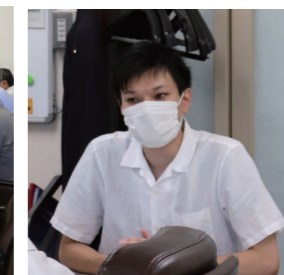
「NPO法人 複合力」
中山間地政策について



「フードバンク・ポポロ」
貧困対策について



中小企業の方々
静岡市の課題について



児童発達支援について



「シングルペアレント101」
コロナ禍でのひとり親世帯



「清水災害ボランティアネットワーク」



「アマチュア無線団体」
災害時におけるアマチュア無線活用



「静岡市ホテル旅館業組合」
コロナ禍での観光業について